

6 本時の学習（12時間予定 本時はその11）

（1）ねらい

お弁当作りを目指し、調理の手順を確実に習得することができる。

（2）人権教育の視点

班で助け合ったり協力し合ったりしながらよく調理実習することができる。

（3）展開（きめ細かな指導）

学習内容	時間	支援及び指導上の留意点	評価規準（方法）
1 本時のめあてを知る。	5分	・本時はお弁当作りの調理実習をするので、一人一人が家でも同じ献立を作ることができるようにすることを知らせる。	（十分満足な状況 おおむね満足な状況）
2 お弁当作りの実習を行う。	30分	・衛生面や安全面など調理の要点を確認する。 ・エプロン、マスク、三角巾など身支度をきちんと整えさせる。 ・椅子や荷物など必要ない道具を片付けさせ、安全に作業できるようにさせる。 ・ガス台のまわりに燃えやすいものを片付けたり、テーブルの上をきれいにふいてから調理を始めさせる。 ・手洗いを十分に行うようにさせる。 時間がかかるもの（米をとぐ・炊く）を先にするようにする。 できあがったものはすぐに、お弁当箱につめながら片付けも同時に行い、短時間で調理がすむようにする。 お弁当箱に合わない大きさのものは包丁で切り分け、きれいに盛りつけられるよう工夫させる。 ・各班で協力しながら作業が進むよう机間巡視しながら支援する。 作業分担に偏りがないように必要に応じ声かけをする。 ・材料を無駄にしないようにし、生ゴミなど廃棄物はきちんと片付けられるようにする。 ・ごはんはいったん茶碗にもり、1食分の概量を確認してからお弁当箱に入れると良いことを知らせる。 ・試食は昼食時に行うことを知らせ、お弁当ができたら、片付けを優先させる。	
3 次時の予告をする。	10分	・使用した調理道具を洗い、水気を切ってから片付けさせる。 ・調理や後片づけが間に合わない班は、休み時間等を使って完成させるようにする。 ・洗剤を使用しすぎないように注意し、環境面に配慮させる。 (・昼食時にお弁当を試食し、味や出来栄を自己評価させる。)	

手際よくお弁当作りができる。
(観察)
お弁当の作り方が分かる。(観察)